

(財)長野県緑の基金「森の恵み、地方の恵み再発見事業」

## 霧ヶ峰の草原プログラムで子供向け教材が作成されます

「森の恵み、地域の恵み再発見事業」は、財団法人長野県緑の基金が、平成 20 年度に実施した子供向け教材開発事業です。長野県内 13 箇所の自然や地域の恵みについて子供たちが学んだ内容を教材化しました。

その一環として「霧ヶ峰の草原プログラム」を実施しました。

制作された教材は、平成 21 年 4 月に(財)長野県緑の基金により公開される予定です。公開されましたら、皆様にお知らせしますので、ぜひご活用ください。

- \* 「霧ヶ峰の草原プログラム」は平成 20 年 8 月から 10 月にかけて実施しました。  
5 人の小中学生が参加し、NPO 法人霧ヶ峰基金、長野県霧ヶ峰自然保護センター、諏訪地方事務所環境課が案内人を務めて 5 回のプログラムを実施しました。  
これにより、『ヤマナシじいさんから聞いた 霧ヶ峰の物語』ができました。



**【教材に盛り込まれる素材は次のページで見ることができます】**

<http://digikura.jp/pushcorn/usr/sogen/sogen/cat/nocategory.html>

教材は、『ヤマナシじいさんから聞いた 霧ヶ峰の物語』を軸に、案内人の解説等を収録した映像や写真を組み合わせて構成されます。

教材としてでき上がる前の素材ですが、物語と映像、写真をご覧いただけます。

〈「カテゴリフォルダ」の下向き矢印をクリックし、第 1 章から第 5 章をお選びください。

映像（動画クリップ）は、編集後の各項目をご覧ください。〉